

(別紙3)

教文起第655号 - 1

平成29年7月31日

(施設名) 米子市美術館
(指定管理者) 一般財団法人米子市文化財団
(代表者名) 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司

平成28年度「米子市美術館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市美術館
施設所管課	教育委員会事務局 文化課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成33年3月31日(6年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

特別共催展「生誕100年ターシャ・テューダー展」開催の際は、美術館入口に本展をイメージしたガーデニングを造作展示したほか、常設展Ⅰ「所蔵彫刻作品全公開!」、常設展Ⅱ「米子美形男子図鑑」、常設展Ⅲ「版画コレクション・ハイライト」と、常設展を三回開催。若手作家支援展「坂本和也-Landscape gardening-」は、郷土ゆかりの若手作家を積極的に取り上げるなど、来館者数増に向けての新たな取組み、年度を通して展覧会事業が円滑に行われたことは評価できる。また、収蔵品の管理も適切に行われており、全体として協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理が実施されていた。

【第三者評価】

① 施設について

- ・施設の魅力を高めるべく、展示や運営を工夫して努力されている。
- ・申し分ない。
- ・良好。
- ・良い。
- ・問題を感じない。
- ・壁紙がきれいになり、落ち着いた雰囲気となった。
- ・施設設備は、計画的に点検・調査などが行われており、適切に管理されている。

② 管理について

- ・施設の電気設備等、こまめに点検清掃されている。
- ・改修後、より管理しやすくなっていると思われるが、1F ホールに、受付、休憩スペースがあり、トイレ、EV などへの通路となっている。美術館として重要なプログラムである開会セレモニーなどを行う際に工夫しにくい。ターシャ・テューダー展の時、業者の協力によって入り口を飾るなど、非常に効果的であった。引き続きこうした工夫をしてほしい。図書館の協力も得ながら市の中心地として、城山、大学、湊山公園周囲と一体となった町づくりを考える中で、米子らしい美術館のあり方があると思う。

- ・安全等の警備にも配慮されていることなど評価できる。
- ・申し分ない。
- ・良好。
- ・きちんとできている。
- ・問題を感じない。
- ・職員からもやさしい声がかけてもらえ、利用しやすく市民に開かれた美術館という印象である。また、車イスやベビーカーのサービスもうれしい。
- ・建物の構造上、収蔵品の管理がしにくい点が多いと思われる。貴重な美術品の保存管理については、今後も十分に配慮していただきたい。
- ・安全対策・危機管理体制など、適切に行われている。

③ 事業について

- ・新進気鋭の若手の作家から郷土作家や海外の絵本作家など、幅広い年代層に向けたバラエティーに富んだ企画に取り組みされており、好感がもてる。
- ・展示以外にもスクールやツアーなど多様な取組もされており評価できる。
- ・國頭繁次郎と宮崎進展は、良い作品が来ても、足を運んでくださる方が少ないのは残念。ターシャ・テューダー展は華やかで入場者も多いのでしょうか。
- ・大変良好。
- ・魅力的な企画展が開催されていると感じている。
- ・良好。
- ・なじみの方の展覧会がなされ親近感のわくものになっている。
- ・5「施設の効用」の評価に記してある通り、かなり努力されたと思う。でも、あまりもりだくさんであってはならない。職員数について、いろいろな行事（特に小中学生など）についての計画がこなせるかどうか心配である。「ミュージアムスクール、ワークショップ、創作交流広場など、美術館側と教官との協力体制など計画が盛りだくさんすぎるかもと心配しています。」という市民の声があった。
- ・利用促進に向けて、様々な取り組みがなされており、利用者の増加につながられている。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

創作交流広場や、市内に点在する多くの彫刻の活用を含め、さらなる利用者拡大につながるような事業展開を図ること。

【第三者評価】

- ・自己資本比率が少し下がったので対策を考えてほしい。
- ・学芸員さんのギャラリートークは、良い知識と勉強になる。出来る限り、その時間にでかけたいと思っている。
- ・市展審査員選考の際、本人意思確認等が不十分な点があり、次回以降の選定の際は必ず最終確認を行い、意思疎通を図る。
- ・米子市にある大学は医学部（理系）であり、そこでは地域学的内容も取り入れながら医学教育が展開されている。こうした当地の特徴を踏まえた美術館の運用方法があるのではないかと思う。
- ・今後も、子ども達が美術館や創作活動に興味・関心を持てるような教育普及事業を行ってほしい。
- ・親子や家族で鑑賞できるような事業を行ってほしい。
- ・常設展のPRをさらに強化し、入館者の増加に繋げてほしい。図書館では親子の姿が見られる。美術館でも、そうした光景が見られたら嬉しい。
- ・子供達に美術館を知ってもらう事が大切だと思う。
- ・県内の身近な、「鬼太郎」「コナン」等の企画も試みては如何かと思う。
- ・休日には、パラソル喫茶コーナー等があればいいと思う。
- ・全般的には今の体制になって、各面において向上したと感じている。しかし、常設展については、内容はいいのに、いつ行っても人が少なく勿体ないと感じる。知恵をしぼってもっとPRに力を入れる必要があるのではないか。

(別紙2)

平成28年度下期「米子市美術館」モニタリング評価表 [平成29年6月]

施設名	米子市美術館	
施設所管課	教育委員会事務局 文化課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成33年3月31日	
選定方法	公 募 ・ 非公募	
施設の設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土にゆかりのある優れた作家の美術作品等及び近代以降の版画作品等収集、保管、研究及び展示。 市展、県展、特別共催展（年間1回）、常設展（年間3回）、特別企画展（年間1回）、共催展（年間1回）、若手作家支援展（年間1回）、ミュージアムスクール（教育普及事業・年間4回）等	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（60点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた、人員を配備し、管理体制も明確であった。また、マニュアル等も作成し、安全対策、危機管理体制、態勢を整え利用者、使用者の安全確保に努めているため。資料等確認、立入検査
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	指定申請書に基づき、計画的に研修を受講している。 資料等確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	ターシャ・テューダー展及び市展は会期中無休とし、ターシャ・テューダー展会期中には金曜日開館時間延長を行うなど利用者拡大に努めた。

			ターシャ・テューダー展と とっとり花回廊、國頭繁次郎展 と山陰歴史館との相互割引 による利用促進を実施、また 坂本和也展は地元出身の若 手作家の作品を展示するこ とで地元の方の観覧増加に 努めたため。資料等確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率は適切な水準であるか 1	※	B 特別共催展（ターシャ・テ ューダー展）は1万5千人を越 える入場者があり、玄関横の 「ターシャの庭」をイメージ した造園展示と新たな試み として利用者数の増加につ ながったほか、市展、県展及 び常設展の入場者数も前年 を上回ったが年間総来館者 は前年を下回ったため。 台帳確認 補足資料1
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		B サポーター制度、委員会、ア ンケートの実施等により要 望把握に努め、適切に実現策 をおこなっている。 立入検査、資料等確認
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		B 協定書に基づき、適切に行わ れた。第三者による点検業務 は電気設備、エレベーター、 空調、自動制御設備機及び消 防用設備機器の最小限度で あった。 台帳確認、立入調査
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		A 協定書及び覚書に基づき、適 切に実施した。敷地内の除草 作業を行っており、館内では

			床面清掃を適宜実施し美化に努めている。台帳確認
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 台帳確認、立入調査
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	展示室のクロス補修や冷却塔給水配管修繕などを適切に行ったため。 台帳確認、立入調査
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	自主事業計画書に沿って適切に実施された。ターシャ・テューダー展、國頭繁次郎展では関連事業も円滑に実施された。 資料確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制、管理体制を整備し、個人情報保護方針を作成し個人情報を慎重に取り扱っている。 資料確認、立入調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	施設の現状を正確に把握した上で今後の事業を計画しているため。資料確認
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	指定申請書に記載された提案は実施されている。各展示会やミュージアムスクール等で利用者アンケートを実施し、回答は概ね利用者を満足させている内容であった。 資料等確認、立入調査
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 立入調査
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。	B	指定申請書に基づき、サービス水準向上策を策定し実施

	利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか		し創意工夫のある内容であった。また、利用者への接遇、対応は適切であった。 資料等確認、立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	ミュージアムスクールとして学芸員レクチャーや創作・交流広場でのワークショップを行うなど、幅広い内容で美術への興味を引くものであった。 資料等確認
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	ミュージアムスクール、出前講座等の様々なサービスを提案、実施し、芸術鑑賞の機会を提供するだけでなく、美術に対する市民の教養等の向上にも積極的に取り組み、常に新しい試みを発案実施している。 資料等確認
Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※ 2	B	事業収支は適切な水準であった。 補足資料2
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※ 3	B	経営状況分析指標は適切であった。 補足資料3
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※ 4	B	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であった。

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>特別共催展「ターシャ・テューダー展」、特別企画展「國頭繁次郎展」を開催したほか、本年度は常設展を3回（Ⅰ～Ⅲ）実施したが、いずれの展覧会事業も円滑に行われた。また、教育普及事業としミュージアムスクール、ワークショップなどの様々な展覧会関連事業を行い、創作交流広場を活用するなど事業内容も工夫されており、優れた管理運営を行っている。</p>	<p>合計点 (72) 点 / (100) 点 × 100 = (72)</p> <p>平均点 (3.6) 点</p>
---	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成28年 4～平成29年3 月〕A	前年度〔平成27年 4～平成28年3 月〕B	対 比 A－B、A/B		対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数（注 1）	315（256）	327（258）	-12	96.33（%）	
施設利用者数	65,721	77,373	-11,652	84.94（%）	
施設稼働率（注2）	81.2%	78.8%	2.4	103.04（%）	
事業開催数	14	12	2	116（%）	

（注1）（ ）の数字は展示日数

（注2）施設稼働率 展示日数/開館日数 により算出

※2 事業収支

（1）収 入

項 目	本年度〔平成28年 4～平成29年3 月〕A	前年度〔平成27年 4～平成28年3 月〕B	対 比 A－B、A/B		対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
指定管理料	49,596,000	50,047,000	-451,000	99.09 （%）	
使用料収入	3,770,544	3,540,176	230,368	106.50 （%）	

事業収入	3,647,031	5,807,623	-2,160,592 (%)	62.79	前年は、2度の特別共催展が行われたため
補助金等	0	0	0		
雑収入	334,119	322,873	11,246 (%)	103.48	
負担金	0	0	0		
合計	57,347,694	59,717,672	-2,369,978 (%)	96.03	

(2) 支出

項目	本年度〔平成28年4～平成29年3月〕A	前年度〔平成27年4～平成28年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	27,729,745	27,156,885	572,860	102.10(%)	
施設管理費	14,724,734	14,934,369	-209,635	98.59(%)	
事業費	9,263,292	12,140,341	-2,877,049 (%)	76.30	特別共催展が前年より減った為
委託費	4,400,200	4,462,884	-62,684 (%)	98.59	
事務局経費	3,102,000	4,355,000	-1,253,000 (%)	71.22	特別共催展の減少で連動し減少
合計	59,219,971	63,049,479	-3,829,508 (%)	93.92	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成28年4～平成29年3月〕A	前年度〔平成27年4～平成28年3月〕B	対比 A-B、A/B		備考
① 事業収支	-1,872,277	-3,331,807	-1,459,530		
② 利用料金比率	6.5%	5.9%	0.6	110.16(%)	
③ 人件費比率	46.8%	43.0%	3.8	108.83(%)	
④ 外部委託費比	7.4%	7.0%	0.4	105.71(%)	

率					
⑤ 利用者当たり 管理コスト	1,678.7	1,739.5	-60.8	96.50 (%)	
⑥利用者当たり自治 体負担コスト	1,405.9	1,380.8	25.1	101.81 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況 (年度毎下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	備考
①自己資本比率	63.1%	54.9%	44.1%	57.7%	51.0%	
②流動比率	288.1%	230.7%	182.1%	304.5%	238.4%	
③固定長期適合率	11.5%	14.2%	15.5%	15.3%	15.9%	
④総資産経常利益率	-1.5%	-6.3%	-1.8%	-6.5%	7.6%	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率}(\%) = \text{自己資本} \div \text{総資本} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率（％）} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率（％）} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資本} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益余剰金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

（ターシャ・テューダー展）言葉で歴史をつづった展示の状態が良く出来ていて分かりやすく伝わって良かったです。全体的に絵の作品に心惹かれました。祖母と初めて美術館に来ました。さわやかで、春・初夏らしくて気持ちがワクワクしました。また美術館に来ようと思いますなど、満足されたゆえの意見が多く寄せられたが、一方で、所々説明不足なところを感じられる。（写真の説明など）ガーデン全体の見取り図が各パートにあると庭全体を想像しやすいのでは？等の、意見も寄せられた。

（國頭繁次郎展）シベリア時代の苦しみが伝わってきて感動。とても懐かしく感じながら鑑賞させていただきました。とても優しい人でした。それぞれの作品に簡単な説明をつけ、その画家の一生をストーリーのようにわかったら、よりおもしろく、観た人々に記憶に残るようなものになるのではないかと思います。（以前、箱根の彫刻の森美術館のピカ

ソ館でそう感じたため)などの意見感想が寄せられた。

(常設展) 落ち着いた雰囲気素晴らしい。白黒写真が懐かしく、思い、匂いを思い出せる様だったなどの意見のほか、キャプションが少々読みづらかった。もう少し大字で短くていいと思うというような意見要望もあった。

(坂本和也展) 地元の若い方を応援する企画は大変意義あることだと思います。米子西高卒という記事に惹かれてのぞきました。2004年卒とは若い作家、これからも頑張ってくださいなど、若手支援の展覧会の評価をいただいたほか、作品についても Landscape gardening/ダイナミックな作品と独特な色づかいに魅了されましたなどの感想をいただいた。